

# 愛媛県の地震

2021年（令和3年）5月

## 目次

1. 愛媛県周辺の震央分布図	1
2. 地震概況（5月）	1
3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）	2
4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震 の震度分布図（5月）	2
5. 地震一口メモ 地震の揺れの強さ（震度）は どうやって観測しているの？	3

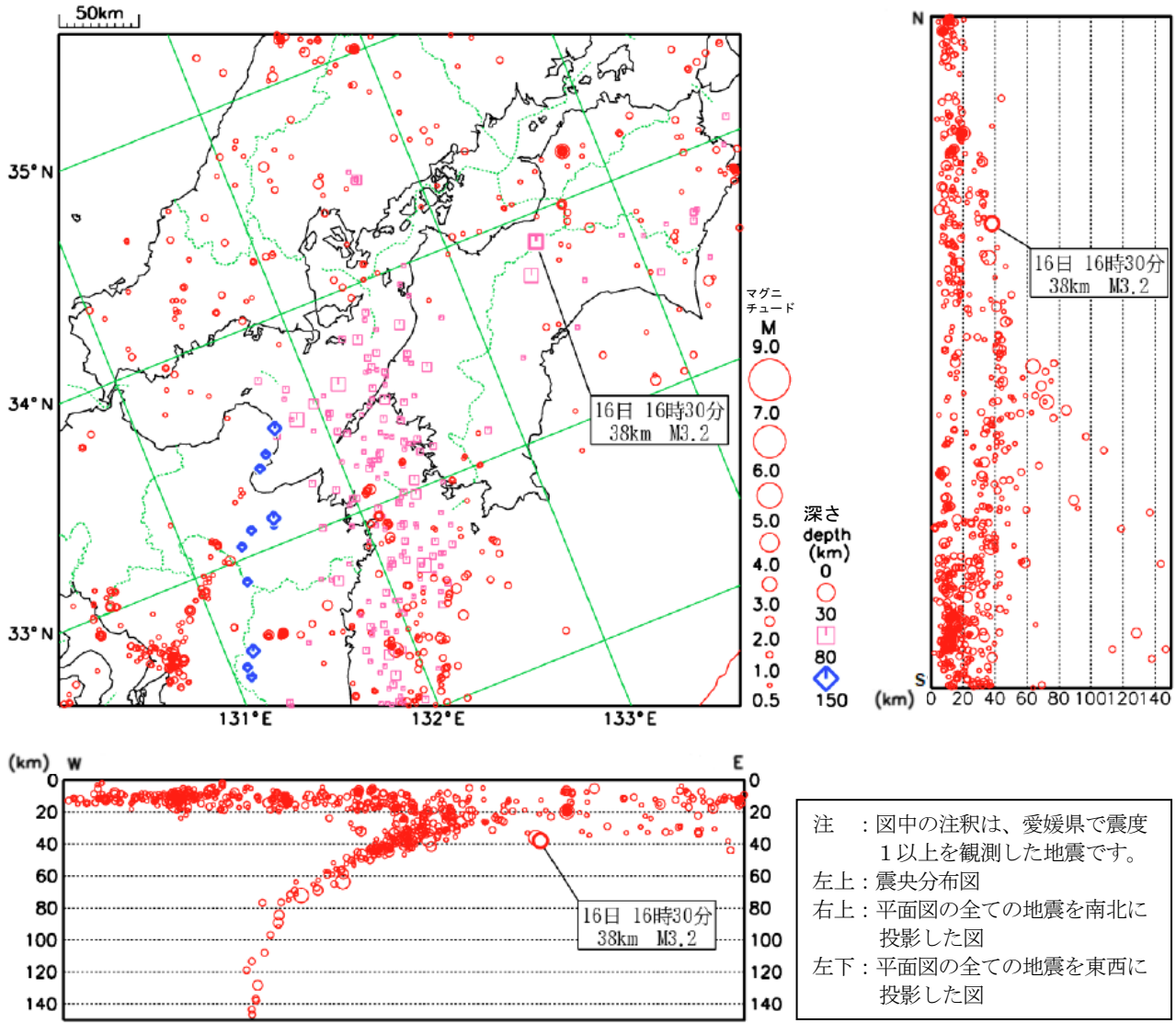
本資料に記載した震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は、暫定値です。これらは、後日、再調査のうえ修正することがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。

また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

松山地方気象台

# 1. 愛媛県周辺の震央分布図 [2021年5月1日～5月31日]



震央分布図は地震が発生した場所を地図上でプロットしたものです。地震は地下で発生しますのでシンボルマークの形を深さに応じて変えています。○より◇の方が深い場所で発生した地震です。また、シンボルマークの大きさで地震の規模（マグニチュード）を表現しています。

## 2. 地震概況（5月）

今期間に、上図の震央分布図内の領域で決定した地震のうちM2.0以上の地震の回数は55回（先月は42回）、愛媛県内で震度1以上を観測した地震は1回（先月は2回）でした。

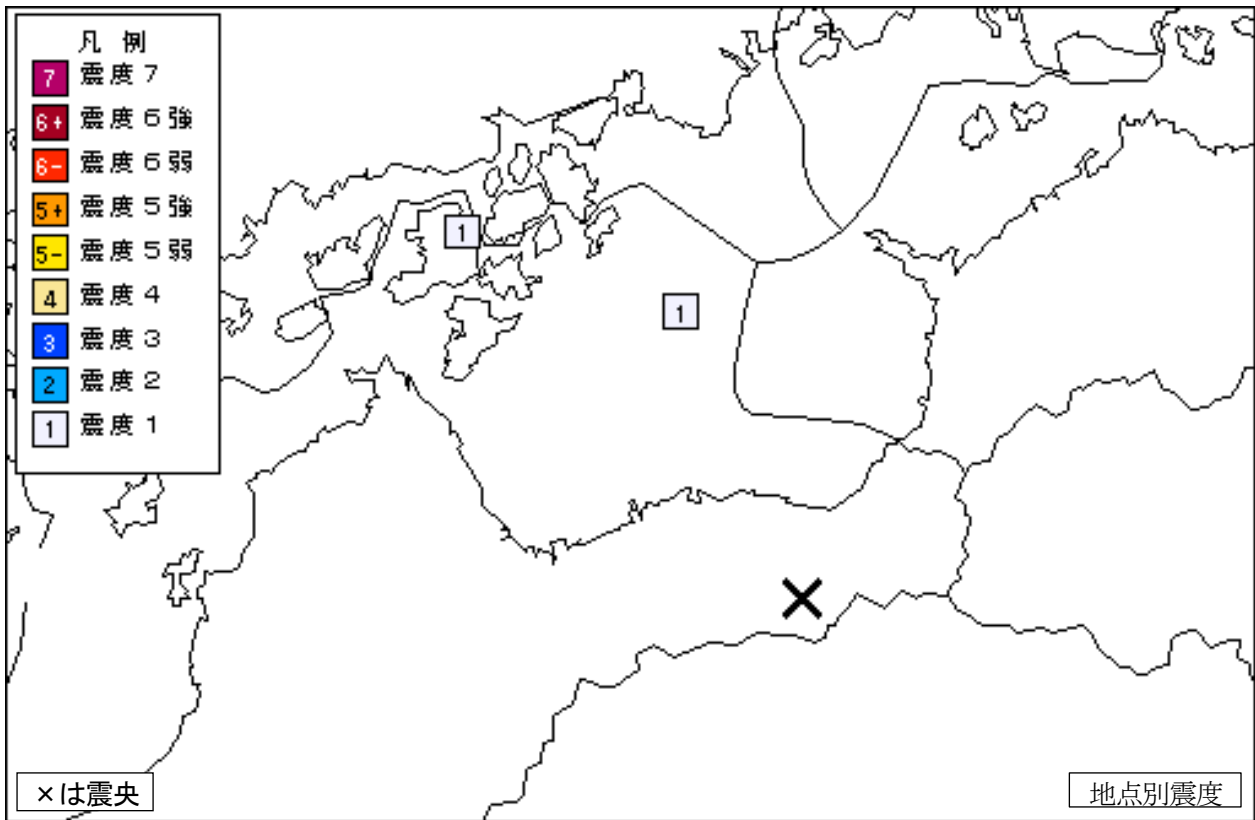
16日16時30分 愛媛県東予の地震（深さ38km、M3.2）により、愛媛県今治市・上島町で震度1を観測しました。

### 3. 愛媛県で震度1以上を観測した地震（5月）

震源時（日時分）	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード	最大震度
愛媛県内各地の震度						
2021年05月16日16時30分	愛媛県東予	33° 52.1' N	133° 28.7' E	38km	M3.2	最大震度1
----- 地点震度 -----						
愛媛県 震度 1：今治市上浦町*、上島町魚島*						

注：\*印は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

### 4. 愛媛県で震度1以上を観測した地震の震度分布図（5月）



## 5. 地震一口メモ

### 地震の揺れの強さ（震度）はどうやって観測しているの？

震度を観測する方法は、時代によって異なります。気象庁では、明治17（1884）年以来、130年以上震度観測を実施しています。観測を開始してから100年余りにわたって、震度は体感および周囲の状況から推定していましたが、観測を客観的に行い、結果を迅速に発表するため、気象庁は平成3（1991）年、世界に先駆けて震度計を開発しました。

平成7（1995）年1月17日に発生した阪神・淡路大震災を契機に、平成8（1996）年4月からは、観測は全面的に震度計で行うこととし、体感による観測は廃止しました。同年10月からは、現在の10階級の震度階級（震度5及び震度6をそれぞれ弱・強の2階級に分割）による震度を発表しています。



上の図は、震度計の写真と概要になります。この震度計の導入により、

- ①客観的な観測が可能
- ②無人でも観測可能なため、震度計を設置することにより観測点の多点化が可能
- ③震度データ収集が自動化されることにより、震度情報の迅速な発表が可能となりました。

令和3年5月現在、気象庁が発表する震度情報に活用している震度観測点は、全国で約4400地点、愛媛県内で77地点となっています。これらの震度観測点は、気象庁の他、都道府県等地方公共団体、国立研究開発法人防災科学技術研究所等により整備・運営されています。

観測結果は、各管区气象台等、都道府県庁または国立研究開発法人防災科学技術研究所等に電話回線や防災行政無線等を使用し集約・処理され、地震発生から数分後には、気象庁へ提供され、気象庁から発表する震度情報に含められます。震度情報は、発災後の初動対応の判断材料等として多くの防災機関に利用されており、地震防災上欠かすことのできない重要なものとなっています。